



伊豆市

議会だより

No.27

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2011.2.1発行



丸山スポーツ公園（八木沢）

土肥桜は、1月上旬からつぼみがほころびはじめ、2月中旬まで咲き続く桜です。大寒桜や河津桜と比較して花が紫ピンクであること、がく裂片の形が広卵状三角形であること、開花期が早いこと等で区別性が認められ、平成19年に種苗法に基づき「伊豆土肥」として品種登録されました。

目次 CONTENTS

■ 議長新年のあいさつ	2
■ 12月定例会の概要	3
■ 委員会審査	4
■ 一般質問	6
■ 請願	11
■ 議員新年の抱負	12
■ 3月定例会の予定	14



伊豆市議会議長
杉山 兎 央

皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様方の議会への温かいご支援とご協力に厚くお礼申し上げる次第です。

顧みますと、昨年は議会が天城湯ヶ島支所から本庁2階へ移転し、行政とより近くなり、お互いにほど良い緊張感とスピーディな運営ができるようになりました。

若干の手狭さがあり、市民の皆様にはご不便をお掛けい

たしますが、エレベーターや車椅子のまま傍聴していただける席も整備されました。11月には議会構成が一新され、議員一同、心新たに議会活動を行なっているところですので、多くの方々の議会傍聴をお待ちしております。

さて、外に目を向けてみますと、我が伊豆市も観光事業の落ち込みから脱出しきれず、苦しい状況が続くとは思われますが、他力本願でじっとしている訳にはまいりません。

自力で新たな行動を起こしましょう。

市内には幾つかの芽が芽吹いて来ています。それらを一つ一つ育てて明るい未来にするために、最大限の努力をしたいと思えます。

若い人達に元気になっていただくために、身近な職場の創設や、小さな子供を安心して預けられる認定こども園の増改築は急務です。行政と一緒に頑張って全力でやっています。

昨年再編成された土肥小学校、今年4月には中伊豆小学校も新たにスタートします。これからも伊豆市の最重要課題の一つであります人口減少問題を皆様と一緒に取り組んで行きたいと考えます。

道路問題も大変重要な課題ですので、国や県に対して粘り強く陳情活動を続けてまいります。

年末には補正予算がつき、少しは光が見えてきましたが、まだまだ難問山積みです。優先順位を精査して、一日も早

く一箇所でも多くの交通渋滞の解消に努力いたします。

結びに、「人あつたか まちいきいき 自然つやつや伊豆市」を旗印に、市民の皆様にご依頼される伊豆市議会を目指してまいりますので、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。



▲春に開通する旭日橋（田方南消防署前）

一般会計の総額が155億120万円になりました

平成22年
12月定例会

平成22年12月定例会が、12月2日から17日までの16日間の会期で開かれました。

補正予算6件、条例の制定1件、条例の一部改正・廃止4件、組合の規約変更1件、その他3件、意見書2件、決議1件を原案のとおり可決し、請願1件は不採択となりました。

22年度補正予算

一般会計（第3回）

職員期末手当等の減額のほか、不採算公的病院への補助金、早期勸奨退職者特別負担金、障害者自立支援事業費、保育園一般事業費、電波遮へい対策事業補助金等、歳入歳出それぞれ6億3千910万円を増額するもの。

公共用地取得事業特別会計（第1回）

修善寺地区湯川橋の架け替えに伴う用地取得のため、9千200万円を増額するもの。

国民健康保険特別会計（第3回）

高額療養費と葬祭費の支給、人間ドック委託料の増額等、5千612万3千円を増額するもの。

下水道事業特別会計（第2回）

流域下水道維持管理費負担金、繰上償還元金等、2億7千145万9千円を増額するもの。

農業集落排水事業特別会計（第3回）

処理場の緊急通報装置修繕等、197万円を増額するもの。

上水道事業会計（第2回）

収益的支出は、水質検査手数料減額等69万8千円の減額。資本的支出は、建設改良費減額と企業償還金増額の相殺により、509万2千円を増額するもの。

条例関係

○伊豆市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

主に、専門的な知識を必要とする業務に限定し、職員を採用する必要性を想定し制定するもの。

○伊豆市水道事業条例の一部改正

給水料金の統合・改定により、給水人口と一日最大給水量を見直すもの。

○伊豆市簡易水道等条例の一部改正

給水区域の表示の仕方について見直すもの。

○伊豆市天城温泉会館条例の一部を改正する条例の廃止

指定管理者の応募がなかったため、条例の一部を廃止するもの。

その他

○伊豆市沼津市衛生施設組合規約の一部変更

二市で共同処理するもののうち、平成23年3月末日をもって火葬場の設置と管理運営に関する事務のみを廃止するもの。

○伊豆市沼津市衛生施設組合規約の一部変更に伴う財産処分

組合財産の火葬場が二市の境にあるため、伊豆市側にある土地一筆は伊豆市に、沼津市側にある土地四筆と建物は沼津市に、それぞれ帰属させるもの。

○市有財産の譲与

中伊豆戸倉野区が地縁団体の認可を受けたため、戸倉野公園と防災倉庫の土地名義を変更するもの。

○工事請負契約の変更契約の締結

電線埋設工事等の状況から、通称アクセス道路の橋梁部（旭日橋）の工期を、1月末日から3月25日に変更するもの。



委員会の議案審査で
次のような質疑がありました

総務教育委員会

◆一般会計補正予算(第3回)

問 修善寺小学校の障がい児用のリフト設置とトイレ改修工事について、どのような内容か。

答 上級生になったときのことも踏まえて、今回、1階から3階までレールを設置します。これは、中学校への移設も可能なものです。トイレの改修は、2階のみです。

問 総合事務組合退職手当特別負担金について、勸奨退職の対象年齢は何歳か。定年まで勤務しても例えば支出しなくてもいい負担金だが、いかがか。

答 勸奨退職は59歳ですが、早期退職優遇制度による退職者も同じ扱いといたしますので、今年度の退職者24人のうち、20人が対象となります。負担金は22人分です。

適切な制度だとは思っていませんが、現在、主幹級以上に職員が多く、人事に歪みが生じていることもあり、組織のスリム化に貢献してもらっているものです。

問 天城湯ヶ島支所の修繕料と同報無線リモコン設置工事は、企業への貸し付けと関係があるのか。

答 天城湯ヶ島支所を移動し、建物を空けることは、年度当初から予定していましたが、今回貸し付けを行なうことになり、電話交換機の入替えと、宿日直用の事務室の手直し等をするものです。

同報無線のリモコン設置は、本庁からも操作ができるようにするもので、来年度、中伊豆支所と土肥支所にも設置する予定です。

◆公共用地取得事業特別会計補正予算(第1回)

問 湯川橋架け替えのための代替地として、元NTTの跡地を購入することだが、道路拡幅にも使用するのか。

答 道路拡幅のほか、遊歩道の終点部分等を管理道路として利用し、それ以外が代替地となる予定です。



▲元NTTの跡地(小立野)

◆市有財産の譲与について

問 市の固定資産税や国の登録免許税など、どのようなになるのか。

答 通常、固定資産税は課税されますが、公共広場として使用ということで減免の申請をしていただければ、免除することになります。登記に関する費用のほか、県の税金が発生した場合は、認可地縁団体となった戸倉野区が支払うこととなります。

福祉環境委員会

◆一般会計補正予算(第3回)

問 障害者福祉サービス費、療養介護医療費、障害者日常生活用具

給付費の増額理由は。

答 障害者福祉サービス費は、低所得者の無料化が始まったことに伴う公費負担の増額、療養介護医療費は、人工呼吸器等をつける重度の方の増加によるものです。

障害者日常生活用具給付費は、聴覚障がいの方が地上デジタル放送の受信機以外に取り付ける機器が高額なためです。

問 市内公的病院等への補助金の趣旨は。

答 中伊豆温泉病院へは、胃胸部検診車の購入補助を、伊豆赤十字病院へは、医療体制の充実を図るための補助となります。

伊豆市から日赤を無くさないための引き留め策としての補助金であり、赤字補填だけでなく、市民のため医療サービスの充実をお願いするものです。

問 新し尿処理場建設委託料の内容はどのようなものか。

答 候補地1ヶ所に対し、長さ最長25mのボーリング調査を5ヶ所、断層ラインの電気探査を3ヶ所予定しています。

◆国民健康保険特別会計補正予算
(第3回)

問 高額療養費増額の理由は。分析はしているか。

答 全体の被保険者数は減っていますが、医療費は増えています。人工透析等の医療の高度化・長期化により、高額医療費も増えている状況です。

◆伊豆市沼津市衛生施設組合規約の一部変更に伴う財産処分

問 伊豆市へ帰属される土地は、今後どのように使用していくのか。

答 火葬場を運営する沼津市へ5年間無償で貸し付け、火葬場への進入路として使われます。

経済建設委員会

◆一般会計補正予算(第3回)

問 農業生産強化施設整備事業補助金は、新設のみの適用か。

答 ワサビ田のモノレールを整備するもので、新設のみ対象です。今回は、上船原と矢熊の組合へ補助を予定しています。

問 中伊豆温泉スタンド水中ポンプ入替工事費の内容は。

答 当初予算で、水中ポンプ制御盤の取替えと、ポンプの分解・点検を予定していましたが、急に温泉が出なくなり、調査の結果、ポンプが落下していることがわかりました。

揚湯管の劣化が原因と考えられることから、今回、ポンプの引き揚げと、揚湯管費を追加しました。



▲温泉スタンド(八幡)

問 松くい虫防除委託料について、場所、被害状況、散布方法は。

答 今回の補正で、修善寺自然公園内の枯れた松の伐木と薬剤散布を行います。

被害は、修善寺自然公園からきこのセンター裏、土肥松原公園、天城ふるさと広場のゴルフショー

トコース周辺の3箇所です。

松原公園は小さな木が枯れる程度ですが、自然公園内は全体的に被害範囲が広く、夜間にスプリンクラーで薬剤散布をしています。他は地上散布です。

◆下水道事業特別会計補正予算(第2回)

問 工事補償費が減額される理由は何か。

答 下水道の工事をする、上水道管に当たり、布設替えが必要になります。上水道管のないところや工事補償費が発生しないなどの理由による減額です。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

問 処理場管理事業の修繕料について、場所と内容の説明を。

答 湯ヶ島のマンホールポンプ修繕が主ですが、すでに97%程度を執行しており、3月までに予測できる不足分も計上しました。

◆上水道事業会計補正予算(第2回)

問 資本的支出の建設改良費の減額について、他に建設改良が必

要な箇所はないのか。

答 緊急な改良が必要であればそちらに回しますが、今年度もあと3ヶ月となりましたので、年度内に完了できるのか等考え、当初の予定箇所のみとしました。

◆水道事業条例の一部改正

問 給水地区を統合すると、上流地区で水が不足するのでは等、心配する声が聞かれるが、水道管の接続も含まれているのか。

答 給水料金の統合・改定ができたことによる給水人口と、1日最大給水量等の見直しですので、水道管をつなぐというような計画はありません。

◆簡易水道等条例の一部改正

問 上船原簡易水道について、給水人口1,360人は妥当か。

答 今回の一部改正は、給水区域部分の文言の改正が主で、計画給水人口が妥当かどうかの検討はしていません。認可の必要があれば検討したいと思います。

なお、八木沢と小下田の簡易水道は統合されましたので、施設名を改正しました。

市政を問う

～一般質問～

12月定例会での一般質問は、12月6日、7日の2日間、15名の議員が36件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

伊豆市におけるジオパーク構想に向けて

(室野英子議員)

伊豆半島は、フィリピン海プレートが本州に衝突し形成されたもので、海底と陸上の火山噴火により大地が造られている。

その大地の資産を生かす新しい観光を、この伊豆半島に加える「ジオパーク構想」の現に向けて、伊豆市としてどのような方針を立て、認定に向け推進していきますか。

市長 市答

市内全域にPRと盛り上がりを進めたい

現在、県の観光政策課で指針書の作成準備が進められており、作成されれば各市町のジオパークが確定し、明確になりしだい速やかに地権者の方々との協議を始めたいと思っています。

小中高校生にも、地元に対する誇りにもなりますので、積極的に進めていきたいと思えます。

地元市民自らも学び、理解し、その思いを広げる努力なくして成功はないと思います。

質問

伊豆市の森林文化について

(森島吉文議員)

以前の行政報告「伊豆市森林文化の基本的な考え」の中で、伊豆市の山林を「木材生産の場」と位置づけています。林業の振興策として、貯木場、林道、路網の整備等の構想も聞きましたが、その計画内容、進展状況を伺います。

市長 市答

間伐や利用間伐を積極的に進めます

本年度の林業振興計画は、市有林62ヘクタールです。これは、土肥地区ほか3箇所の間伐事業を発注し、そのうち、中伊豆大幡野地区24ヘクタールについては、受託した田方森林組合において、利用間伐を実施する計画です。

また、来年度は日本製紙と大平柿木報徳社との分取林140ヘクタールを、利用間伐事業としてパイロット的に進めるため、所有者や地元の皆さんと協議中です。

質問
**県道12号線、修善寺駅付近
 の交通渋滞改善策について**

(梅原泰嗣議員)

この区間は、最近交通量が増えたのか、朝夕に渋滞する状況が多くなり、中伊豆方面、地元住民も横瀬方面へ出る際に不便を感じています。

歩行者の安全と交通整理の範囲内で、国道との流れを平均化する必要があると考えます。1つの方法として、交番から横瀬の交差点の間の4つの信号機を連動する等の要請を警察署に出来ませんか。また、長期的な計画としての改善案があればお伺いします。

**長弁
 市答**
**中長期的な対応策を
 実施、検討中**

大仁警察署では、本年4月に横瀬交差点信号機の改良を実施しましたが、渋滞緩和とはなっていないように見受けられます。

中長期的な対応策として、一つ目は日向・大平のアクセス道路の完成と、清水・田代間の県営一般農道の完成。二つ目が、修善寺道路の無料化。三つ目が物理的に道路を改良する、修善寺橋からおおむね駅前交番にかけての三車線化などを考えています。

質問
廃校後の施設利用について

(内田勝行議員)

平成23年4月に中伊豆小学校が誕生します。同時に土肥、中伊豆地区を合わせ、三校が廃校になります。当該地区の関心事は、施設がどのように利用されるのかに移っています。

仮に企業誘致が実現すれば、地域活性化の一翼を担うことが期待されます。今後、施設利用に向けどのようなプロセスで進めていくのか。また、すでに実現可能な構想があるのか伺います。

**長弁
 市答**
**地元の要望を聞き
 対応していく**

プロセスについては、地元の要望をいただきたいと言ってきましたが、具体的な考えが出てきていません。そこで、使いたいと意欲のある事業者がいれば、話し合いをして、最も適切なものを地元提案していくような形を取りたいと思っています。土肥南小学校については、体育館及びプールを除いて解体することが必要ではないかと考えています。

八岳小学校及び大東小学校については、一月には両地区で地元の皆さんとの意見交換会を計画しています。

質問
森林整備について

(飯田正志議員)

有害鳥獣の被害により、伊豆市の森林が壊滅的な被害を受けていることは周知の通りですが、その被害の修復については思うように進んでいません。その一端として、民有地であることが障害となっていることがあります。

民有地であっても森林としての役割はあるわけで、荒れたままにしたいとは思いません。行政として何らかの手を打つべきだと思いますが、市長の所見を伺います。

**長弁
 市答**
**補助事業を積極的に導
 入し、推進を図りたい**

民有地で管理されていないところの対策は必要ですので、共有林や振興会などをモデルに、有利な補助事業を積極的に導入し、事業計画の立案や、長伐期実施計画により木材を活用できるように、間伐を推進していきたいと思っています。

しっかり管理されていないところについては、行政からお願い、あるいは公費で管理することが可能であるか、現在検討しているところです。

質問

県道349号線の安全性と整備の進捗状況は

(大川 孝議員)

県道修善寺・天城湯ヶ島線は国道並みの交通量です。特にかの川ホテル付近よりおがわ民宿入口付近の間は、幅が狭く急カーブのため、安全性が問題です。

①最近の県の回答内容は ②今まで交通量を調査しましたか ③この路線の速度チェックの指導方法は ④緊急な整備の促進が必要ですが、県には今後どのような整備要請を講じていくのか、所見を伺います。

市長
市答雲金の高田下橋の改良
工事を最優先

市長としては、この県道において唯一軽自動車ですれ違いのできない、雲金の高田下橋の改良工事を最優先にお願いしています。

交通量の調査は、平成17年の日向での昼間12時間調査で、3,756台。速度規制については、警察の専権事項ですので、危険箇所をこちらから通報して、指導していただくことで対応したいと思います。

県の財源も限られているので、提出する側から重要度や時間的な優先順位をそれぞれしっかりと明確にして、引き続き要望していきたいと思えます。

質問

(株)グランバー
東京ラスクへの与信

(森 良雄議員)

この会社の資力、信用、技術、経験等はいかがですか。土地や建物などの所有資産はいかがですか。財務内容はいかがですか。取引銀行の評価はいかがですか。

土地建物を破格の賃貸料で貸しますが、保証人、保証金は考えていますか。支払いが滞ったときは、いかがしますか。

市長
市答

企業内容は良好と評価

信用の根拠は、昭和59年の設立以来、時代に即した商品を考案し、着実に業績を伸ばしてきたことで評価をしました。

土地建物の所有資産は、千葉県松戸市栗山にある自宅兼店舗だそうです。

財務内容については、過去3年の決算報告書等で判断し、おおむね良好と評価しました。取引銀行は、千葉興業銀行、岩手銀行などだそうです。

契約の保証人や保証金はありません。支払いが滞ったときは、明け渡し済みまで一日につき1万2千円の損害金請求をします。

質問

天城・学校再編準備会
結成は、時期尚早

(木村建一議員)

再編成反対の声や、自分の住む身近な学校にするならば統合には賛成という状況の中で、天城の小学校を一校にする目的の準備会をつくる事は、地域に混乱を招く恐れがあります。

準備会結成の時期ではないと考えます。教育長の所見を伺います。

市長
教育答準備会の中で広く意見を
受け止めます

天城地区については、21年度のPTA役員を中心にして、再編成検討委員会を立ち上げ、上申書という形で意見をいただきました。

教育委員会としても、保護者向けの説明会や地区説明会を開催し、保護者の方や各地区の方から直接ご意見を伺ってきました。

再編成の準備会については、検討委員会からの上申書において「おおむねが再編成に賛成」ということから、準備会を設置した中で、いろいろなご意見を広く受け止めながら、検討をしていきたいと考えます。

質問
TPP加盟でどのような影響を受けるか

※ (関 邦夫議員)

TPPは、FTAを発展させ関税も例外なく撤廃、二国間だけでなく多国間の枠組みであるところに特徴がある。農林水産省では日本の損失になるとし、経済産業省は利益になる面が大きいとしている。

TPP加盟で伊豆市の産業はどのように変わるか。農業、水産業、林業、観光業、製造業について、メリット、デメリットを数値で答弁を求めます。

※TPP：環太平洋経済連携協定
 ※貿易自由化をめぐる経済的枠組み。工業製品や農産物など、加盟国間で取引される全品目について、関税を原則的に100%撤廃しようというもの

市長 市答
TPPはチャンス

メリット、デメリットの数値はありません。

農業生産物で国際的な競争力があるのは、例えばアメリカやオーストラリアで乾いた土地に飛行機から種をまいて、水をまいた所だけに野菜ができてくるようなシステムです。

国際競争力のない飼料や肥料を輸入して、そして付加価値の高い農産物にして輸出する、あるいは国内で消費するというのは、私は日本人の英知をもってすれば、必ずや実現されるものと思ひ、個人的にはTPPはチャンスであろうと考えています。

質問
休耕地対策として自走草刈機購入助成制度を

(松本 覺議員)

遊休農地の増加に歯止めが掛からず、伊豆市では三百haにもなります。いったん荒れた田畑は原野や藪となり、一朝一夕には元に戻りません。また、獣の住みかとなり、作物の被害は増大し、耕作意欲は失われます。この悪連鎖を断ち切るには、せめて年数回の草刈が必要ですが、所有者の老齢化が進んでいます。そこで、刈払機の十倍以上の作業効率のよい自走草刈機の購入助成や、貸与制度導入が必要と考えますが、ご所見は。

市長 市答
来年度、県助成金を視野に入れて検討します

県が来年度予算において、乗用草刈機購入に対する補助金を創設する可能性があるとの情報を得ていますので、市としてもそれを活用して、来年度予算に購入費用を計上させていただくことも視野に入れて、その実現の可能性について検討させていただきたいと思ひます。

また、その運用については、松崎町において導入実績があるようですので、そのような先例を研究させていただきたいと思ひます。

質問
地籍調査の迅速な実施を

(杉山 誠議員)

地籍は土地に関する行政活動、経済活動の最も基本的な情報であり、自治体が将来へ向けて発展していくための大事な基礎です。

地籍調査の未実施は、土地の境界をめぐるとラブルや、災害時に境界確認が困難になり復旧に支障をきたすなど、様々な弊害をもたらします。迅速な地籍調査を実施すべきと考えますがいかがでしょうか。

市長 市答
出来る限り早期に地籍調査を実施します

当市の地籍調査、平成21年度末の進捗率は約6%で、県内35市町のうち20番目となっています。

議員ご指摘のとおり、まちづくり非常に大切なことですので、予算の確保と職員の維持・確保を図り、出来る限り早期に調査を行いたいと思ひますが、専門の職員と予算が必要なことで、一気にこの6%を大きく進展させることは難しいと思ひます。しかし、途中でやめることなく、着実にこの事業を進めたいと考えています。

質問

旧天城支所の減額貸付は条例違反ではないか

(西島信也議員)

国の指導では、「適正な対価によらない普通財産の譲渡または貸付は、他の地方公共団体その他公共団体において、公用もしくは公共用または公益事業の用に供するために限定すべきである。」としています。

今回の市有財産（天城支所）を民間の営利企業（株式会社グランバー）へ時価より減額して貸し付けることは、国の指導及び県条例に違反しているのではないか。

市長
副答

条例に基づき、議会の議決をお願いしました

地方自治法237条に、減額ならびに無償貸付が出来る場合として、「条例もしくは議会の議決による場合」が規定されています。

今回の場合は、貸付相手が、条例にうたわれている公共団体ではありませんので、議会の議決が必要です。

したがって議会の議決をお願いして、貸し付けするという事です。

質問

天城湯ヶ島支所への企業誘致

(三須重治議員)

企業誘致は、公平公正に行なわれなければならない。しかし、今回は公募期間10日間弱。そして、応募が一社あったとして即締め切り、その企業と随意契約。これでは公平公正とはとても言えない。さらに、民間への貸付では、通常適用しない減額貸付で契約している。

これは市民に損害を与えると共に、特定の相手への利益供与になるのではないか。

市長
市答

特定の相手への利益供与には当たらない

公募期間は10日間ではありませんが、9月に218件、10月に100件、合計で318件のアクセスがあり、期間の長短がことの本質ではないと考えています。

契約については、この場合にはまず、提案をいただくプロポーザル型がベターだと思うので、これならばというもので、市民の利益になるとして判断しました。

ビジネスはタイミングであり、そのタイミングの早いことが、それをもって不適切とは考えていません。

質問

伊豆市小学校再編計画について

(鈴木初司議員)

子供たちの安心安全を担保するとしたら、通学距離が短いのがベストです。通学に伴う安全面の確保、学校の施設整備など十分協議が必要です。

平成24年4月を用途に再編成するとありますが、市民、地域、保護者の方々が承知していただけるよう、24年にこだわらず、教育委員の方々も教育委員会も進めていくべきだと思いますが、教育長の考えを伺います。

市長
教育答

天城湯ヶ島地区は、24年度を用途にしたい

教育委員会では、24年4月を用途に、天城湯ヶ島地区の小学校三校を一校に再編成することで進めてきました。

今後、準備会を設置し、地域、保護者の意見を聞きながら進める計画です。

地元の意見、要望を取り入れ、より良い方法を検討していきますが、内容によっては24年4月がずれ込むことも考えられます。

準備会の具体的な状況が未定な現段階では、24年4月を用途にしたいと考えています。

質問

伊豆市財産の民間企業への減額貸付について

(稲葉紀男議員)

旧天城湯ヶ島支所の庁舎と駐車場の一部を企業誘致(常勤2人、非常勤18人)のため、月20万円の破格の安値で貸し付ける市長の考えが議決されました。市民の財産を民間に減額貸付する事は、他の自治体では類を見ない事です。

旧4町の合併に伴い目的を終えた市財産は、運用基本方針や誘致に関する条例を定め、公正性・透明性を持って整理すべきだが如何か。

長弁 市答
すべてに適應されるルールは、難しい

旧天城湯ヶ島支所庁舎は、貸し付けにより雇用確保や観光振興など、地域活性化に貢献できると判断したものです。

管理規則の見直しについては、企業誘致とは経済活動の中に地方公共団体が参入するわけで、すべてに適應されるルールを先行的に決めることは、難しいと思います。

ただ、共通に適應すると予測される補助制度と、市内の企業が外に出ずにとどまる場合の支援策等につき、複雑な課題がありますが、3月までに準備できればと思います。

請願

「修善寺老人憩の家」に関する請願は不採択となりました

平成22年4月から入浴料のみ有料化された「修善寺老人憩の家」(熊坂)に関する次の3項目について、請願書が提出されました。

- ① 二百円の入浴料金は百円に値下げを
- ② 「老人クラブ主催の行事のみ無料」とする不公平さは是正を
- ③ 利用者を増やすための諸施策の実施を

請願の審査は、福祉環境委員会に付託されました。審査における質疑の主なものは次のとおりです。

問 修善寺老人憩の家に限っているが、中伊豆の温泉施設も合わせて請願しないのはなぜか。

答 中伊豆の温泉施設は、老人だけでなく一般市民も利用できるが、熊坂のこの施設は、利用者が老人に限定される老人の福祉・健康増進を目的とした施設で、設置目的が異なります。

問 半年間のデータで検討するのはいかがか。

答 高齢者の利用を考慮すると、緊急を要し、7ヶ月のデータで十分と判断しました。

問 請願項目①では百円に値下げ、②では不公平の是正ということで、他の団体の無料を請願することになり、矛盾する点をどう思うか。

答 個人の場合は常習的に利用することもあり、団体の場合は、行事などの時だけという点が異なります。老人クラブと他の団体で区別することがおかしいということです。

以上、審査の後、

・老人憩の家の設置目的が他の温泉施設と異なる。入浴以外の施設は無料であり、風呂に入る人だけに負担があるのはいかがか。負担の公平からみて二百円を百円にするのは妥当ではないか。

・少なくとも1年以上のデータで判断すべきで、現時点で判断するのはいかがか。

・市内の温泉施設として、受益者負担、市民への費用の公平化を考えると、採択できない。

などの意見が出され、採決の結果、福祉環境委員会では反対多数で、原案は「不採択すべきもの」となりました。

そして、本会議最終日、福祉環境委員長より委員会審査について報告があり、委員長に対する質疑と、反対・賛成の討論がありました。

● 反対討論

慎重審議して条例改正したばかり。維持管理費のほか、経費はかかっている。時間経過が短い中、有料化による利用者減は予測の範囲。安くても無料でも遠方の人は利用できない 等。

● 賛成討論

設置目的が違うので、他の施設と比べることはできない。利用者が減っていることは事実であり、利用者を増やす対策をとるべき 等。

討論の後採決の結果、「修善寺老人憩の家に関する請願」は、賛成少数で「不採択」となりました。

議員 新年の抱負

皆様へのメッセージ

鈴木 初司

平素は市民の皆様にお世話になっております。

議員活動も三年目に入りました。初心忘れることなく、市民の付託に答えられるよう、なお一層の努力をしまいる所存です。また、本年度は学校再編、し尿処理施設、修善寺駅周辺事業等々あり、しっかりと審査して参ります。

梅原 泰嗣

昨年までは、合併に伴う課題の解決など厳しい選択もありました。

今年、伊豆市の将来にとって少しでも明るい希望がもてる方向に進むべく大切な年だと考えています。

常に前向きに、そして市民の皆様の期待に応えるべき議員活動を目指し、日々を大切にしたいと抱えています。

稲葉 紀男

市産業の活性化、出生率と人口増加のための対策、一方学校再編成等課題は多い年です。

身近の暮らし易さや将来のためにも真に必要な事は何かを皆で考え、発言し、合意し行動する市民参加の市政への新たな仕組み作りを始めましょう。独断専行は許されません。頑張ります。

森島 吉文

二年前の立候補時の活動目標を振り返ってみました。

森林と鳥獣とのバランス、過疎化の回避、空き家の有効利用、地震などの災害対策、難視聴区域の問題などでした。

二年が経過し振り返ると、実現への難しさを感じます。今年、初心の目標を念頭におき、奮闘努力したく思います。

松本 覺

年の世相を漢字一文字で、昨年は「暑」でした。私は「乱」を予想しました。大相撲、歌舞伎、車のリコール、国民の大半が否定している政治家の厚顔風、日本の誇るお家芸が錆付き組織が錆びてきました。急ぎ過ぎたのです。

今年、将来を見据え、じっくりと安定した「安」の年としたいものです。

西島 信也

「おもう事だまって居るか墓」
曲翠

近江膳所藩士菅沼曲翠。

松尾芭蕉の門人。曲がつた事に我慢のできない性質で、不正をはたらいた家老を殺害して自刃。そのため長子は切腹、家は断絶し、妻は出家。昔はこういう人もいたんだと感銘を覚える。曲翠の句をもう一つ。練壁やわれて日のもる水仙花。

杉山 誠

少子高齢化・人口減少が進む中で、住民が参画し、協力して働く「協働」のまちづくりが求められています。

生活に密着したニーズの吸収に努めるとともに、政策提案力をさらに強めて、「地域で支える協働型福祉社会」の構築目指し、本年も全力で働きます。

内田 勝行

人口減少に歯止めをかける施策に「婚活サークル・iリーグ」があります。

発足して一年が経過しました。会員も1,300人を突破し、成果も出てきています。今後もiリーグを身近なものとして広め、人口増につなげ、さらに活力のある伊豆市にしたいと思っております。

関 邦夫

明治、大正、昭和20年まで戦争を回避できず、巨額の軍事費で貧しい生活を強いられ、多くの人命を失いました。

自由、平等を基本とする現在社会においても、自己主張はある程度にして、平和と安全の中で、心豊かな生活ができる社会を皆で構築しましょう。

大川 孝

明治維新から140年以上も経過し、今国政は揺れ、世界も劇的な変貌を遂げようとしています。

市政では、廃棄物処理施設の建設、学校再編成並びに廃校の再利用方法など、課題が山積みしています。市のより良い未来の青写真を描くため、市民の目線で議会に邁進します。

森 良雄

22年度の議会では、議会だよりで森良雄を名指しで個人攻撃をしております。

これから随意契約を結ぶ業者と議員が飲食をするなど、議員のモラルが問われる事案が発生しています。

議員の数を減らし、議員間の競争をうながし、議員の質の向上を図りましょう。

古見 梅子

子供たちと大地に親しみ、大豆を育て、豆腐作りや味噌作り体験に挑戦し、農業の大変さや楽しさも味わった。

生きることは食べることからだから、今年も食育を通して、農業の大切さを伝えたい。自然に感謝する心、物を大事にする心を育てて行きたいと思う。

塩谷 尚司

新年を迎えるに毎年思う。

人として品格を持たないと、議員としての資格はない。無欲で公務に専念する。

本年も初心を忘れず、伊豆市のために少しでも役に立てればと思う。

室野 英子

『通学には不便なこともあるけれど、新しい友達もいっぱい出来て新しい学校はとても楽しい』との声。

兄弟、姉妹が昔と比べ少ない子ども達にとり、友達という心の財産が増え、さらに心豊かな学校生活を送れるよう、今年も誠意を尽くして参ります。

飯田 正志

国内外が騒がしくなっている現在。私は、知恵を出して伊豆市の形をどのようにするべきか、

行政と一体となり行動しなければならぬと思います。

道路網の整備が進む中、地域活性化のチャンスととらえ、努力していくことが必要だと思います。

鍵山 堅一

先の見えない厳しい中ではあるが、高齢化社会に向けての福祉の充実をはかり、住みよいまちづくり、また、希望の持てる伊豆市をつくるために、市民の皆様の声に耳を傾け、行政と共に協力し、努力して行きたいと思っております。

飯田 宣夫

これからの日本はどうなるのでしょうか？伊豆市は人まねでない独自の施策（財政力を高める・人口減少を止める・メリハリのあたる医療福祉・子供のための教育環境）等々、

思い切った展開が必要です。市民のための議会改革も同様です。

三須 重治

議員が主要案件に対する姿勢を市民に公開することは重要です。

私は、修善寺駅周辺事業は過剰投資（駅舎建替え）せず、南北通路と駐車場設置に留める。学校再編は行政ではなく、関係住民が決定。食肉センターへの過剰投資中止。学校へエアコン設置を求めます。

木村 建一

議会改革検討委員会。委員長の重責を昨年から担っていますが、市民のみなさんに議会での議論の過程を透明化し、良くわかる議会にしようとして決意しています。市民協働で、天城の学校再編成問題、子育て応援、有害鳥獣の被害対策などに取り組みます。

意見書

12月定例会で意見書を採択し 関係機関に提出しました

- ・住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める意見書
- ・容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

伊豆スカイラインに関する決議を採択し 静岡県知事に提出しました

決議

- ・伊豆スカイライン「冷川―天城高原区間及び冷川―沢口地区間」の一部無料化に関する決議

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

3月定例会の予定

場所	本庁2階 議場
時間	午前9時30分～
2月21日(月)	市長施政方針演説 議案上程
28日(月)	議案質疑
3月9日(水)	一般質問
10日(木)	一般質問
22日(火)	委員長報告 質疑・討論・採決

※変更となる場合がありますので
ご承知ください。

編集後記

『議会だより』は、まず一番に正確であり、公平であること为目标に編集しています。

今後も、市民の皆さんに信頼される『議会だより』を作成して参ります。

編集委員一同、読みやすい紙面にするよう努力をいたしますので、引き続きご覧くださいるよう、お願いいたします。

委員長 室野 英子



議会報編集委員6名です。
1年間よろしくお祈いします。